

横展開する取組の例① 持続可能な生活環境の創生

茨城県境町

公共交通の維持

自動運転バス運行事業

- 自動運転バスを導入し、郊外に広がる交通空白地域を解消するとともに、町内の飲食店、商店等と連携し、生活必需品の配送等により町民の利便性の向上を図る
 - 自動運転バスそのものを町の重要な資源として活用していくため、自動運転バスの啓発やPRを行い、視察者や観光客などを積極的に受け入れ
- ⇒ 地域の公共交通の維持に加え、交流人口の拡大や地域経済の活性化を実現し、サステナブルなまちづくりに貢献



▲自動運転バス「NAVIYA ARMA (ナビヤ アルマ)」

※境町HPより引用

埼玉県秩父市

物流効率化

ラストワンマイル配送事業

- 大手物流事業者の荷物を集約し、地域の事業者が山間地域の個人宅まで配送する共同配送サービス「おむす便」を導入し、配送効率の向上を図り、持続的な物流網を形成
- バーコードスキャンで可視化された配送情報を複数事業者間のクラウドで共有することにより、アナログ・手入力の配送記録業務の削減に成功
- 今後は、ドローン配送による更なる配送効率の向上に加え、小売事業者とも連携した買い物支援サービス等を展開予定



※秩父市HPより引用

横展開する取組の例② 地域経済の高付加価値化

愛媛県大洲市

地域の文化資源を活用した観光振興

官民連携による歴史的資源を活用した観光まちづくり

○大洲城城下町の町家・古民家の多くが老朽化・空き家化・危険家屋化している状況を踏まえ、地域の文化資源を活かした新たな「滞在型・宿泊型」の観光拠点として、地域DMOを中心に、日本最大の**分散型ホテル「NIPPONIA HOTEL 大洲城下町」**をオープン

○城下町に28の新規事業者を誘致し、年間5万人以上のインバウンド観光客を城下町に誘客

○日本で初の**城泊体験「大洲城 Castle Stay」**の実現

⇒地域特性を生かした**高付加価値化に取り組み**、収益の増加によって**地域への再投資・新規事業の創出が生まれる好循環の仕組みを構築**



※大洲市提供

高知県

デジタル技術を活用した農業振興

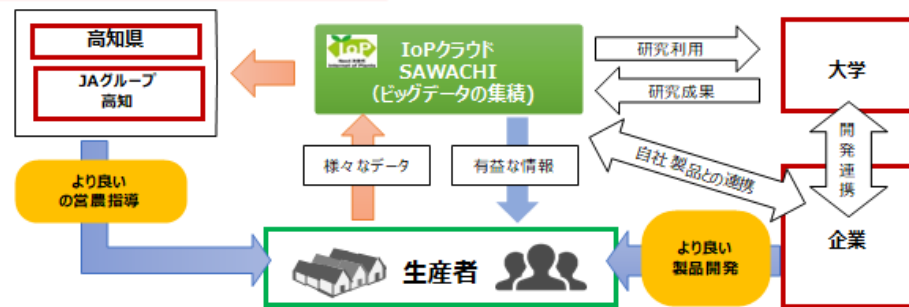
IoP (Internet of Plants) クラウドによる「Next次世代型施設園芸農業」の実践

○高知県が**優位性を持つ施設園芸分野**について、産官学の積極的な連携のもと、AIやIoT等の最先端技術を活用した**IoPクラウドを構築**

○高知大学にIoPの研究拠点となる**「IoP共創センター」**を設立するとともに、研究成果を反映した**教育プログラムの構築等を実施**

○IoPクラウドに集積された様々なデータ（ハウス内環境データ、気象データ、出荷量データ等）を効果的に組み合わせることで、**分析結果に基づいたデータ駆動型農業を実践**

IoPクラウド(SAWACHI)の活用イメージ



※高知県提供

横展開する取組の例③ 若者・女性から選ばれる地域づくり

富山県南砺市

アンコンシャスバイアスやジェンダーギャップの解消

南砺市ジェンダーギャップ解消市民会議を中心としたジェンダーギャップ解消の取組

- 地域や家庭における性別役割分担意識の強さが「ジェンダーギャップ」を生み出し、女性の流出に繋がっているという現状認識のもと、ジェンダーギャップ解消市民会議を設置し、市への提言を実施
- 市役所内に担当部署を新設し、地域づくり協議会における女性役員の登用を進めるためのヒアリングや、女性のマインド&スキルアップのための講座を実施するなど、市全体で女性活躍の推進に向けた機運を醸成



▲「南砺イノベーション講座2024」の様子 ※南砺市作成資料より抜粋

兵庫県豊岡市

アンコンシャスバイアスやジェンダーギャップの解消

自治体と事業所が連携した男女格差是正の取組

- 女性が働きたい仕事・職場への変革に積極的に取り組む市内17事業所（市役所含む）で「ワークイノベーション推進会議」を設立（2018年10月）。2025年10月には129事業所に拡大
- 市内事業所における働きやすさと働きがいに関する「従業員意識調査」を実施
- 従業員支援制度の充実度・実績や従業員満足度による表彰制度によりワークイノベーションを推進



▲表彰制度「あんしんカンパニー」のロゴ

※豊岡市作成資料より抜粋

横展開する取組の例④ 地域への人の流れの創出

北海道上川町

官民連携による関係人口創出

上川町官民連携プロジェクト

- 仕事を通じた町外部との関係を創出するべく「北海道上川町から新しい働き方を発信」をテーマに、ピッチ型のインターンシップや特産品の開発、こども向けデジタルプログラムの導入を推進
- 大雪山を中心とした、「通年型山岳リゾートタウン」を実現すべく、週末移住型キャンプ場の開設や各種レジャーの充実など、地域の自然等の資源を企業の各種リソースと掛け合わせることで、観光業の高付加価値化を実現

⇒官民連携を通じ、人口減少を補う関係人口を創出することや地域経済を活性化することにより、町内の賑わいを創出



※上川町提供

山梨県丹波山村

親子留学

特色ある教育を核とした親子留学による移住促進

- 都心からのアクセスの良さを生かし、都市と山村の生活を両立させた二地域居住型の親子留学を推進
- 山村留学をはじめとした移住相談の窓口を「丹波山村移住定住推進協議会」が請け負い、相談体制や情報発信を強化
- 夏休みに合わせて、川遊びなどを交えた見学会を開催し、移住後のイメージを持ってもらう体験の機会を提供



▲移住見学会の様子 ※丹波山村提供